

# 市民による美しい森林づくりを目指して

東信森林管理署業務第一課森林ふれあい係長 内藤 謙一  
地球緑化センター事務局次長 ○金井 久美子

## 要旨

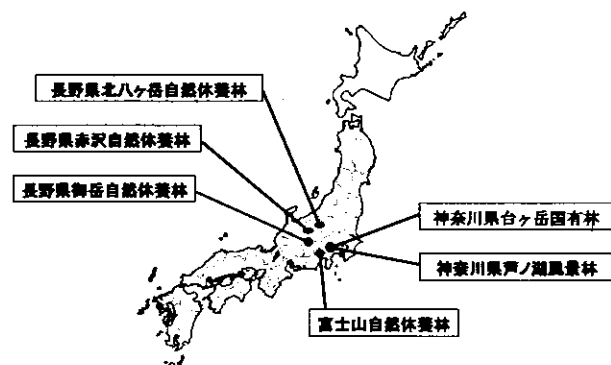
過疎化・高齢化が進み、森林の環境は年々悪化の一途をたどっています。1996年から6年間にわたり、東信森林管理署と地球緑化センターの連携により行った、北八ヶ岳自然休養林内の森林ボランティアの取り組みについてまとめたものです。

## はじめに

地球緑化センターは、「人と緑」をキーワードに森林・緑化に取り組む個人・グループをはじめ行政、学校、企業、組合などを支援し、緑のボランティアを育てる民間の専門団体です。

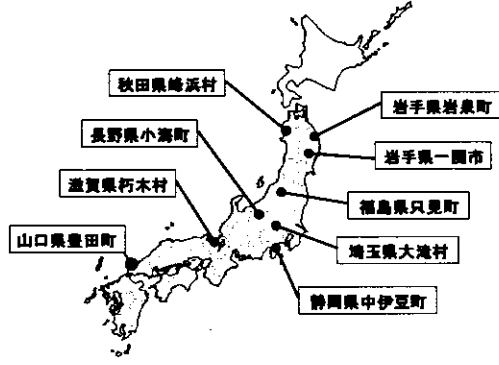
森林ボランティア「山と緑の協力隊」は、週末に市民の手により森林づくりを進めるプログラムです。1996年(平成8年)にこの長野県、赤沢自然休養林からスタートしました。北八ヶ岳自然休養林でも、同年7月から活動をはじめ現在までに登山道の整備や修景除伐を行っています。国有林からスタートしたこの活動も、ここ数年は自治体との連携・協力が盛んになり、地域に根ざした森林づくりを展開しています。参加者の輪が広がったことで、活動地も東北、関東甲信越、東海、近畿、中国と全国に拡大しています。(図一・図二)

「山と緑の協力隊」活動場所



図一 国有林での活動地

「山と緑の協力隊」活動場所



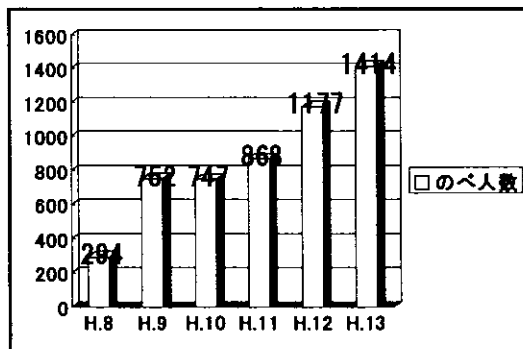
図二 市町村有林での活動地

## 1. 参加者データ

1996年(平成8年)から現在までの6年間の参加者数は、のべ5252名です。

2001年(平成13年)は、東信森林管理署の北八ヶ岳プログラムを始めとして、年間20回以上のプログラムを行い、1414名の方々の参加がありました。(表一)グラフからもわかるように、年々参加者が増加傾向にあり、毎回定員オーバーの状態です。

表一 参加者数の推移

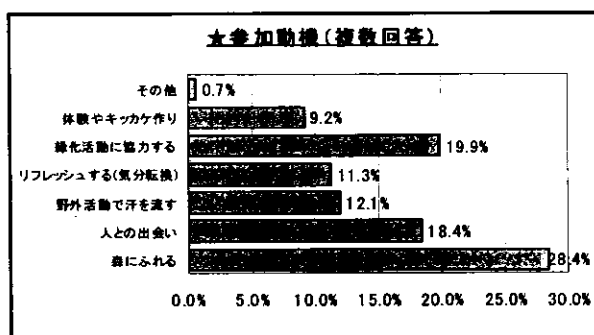


## 2. 参加者の状況

### (1) 参加動機

2001年（平成13年）の東信森林管理署北八ヶ岳自然休養林内で行われた北八ヶ岳修景除伐プログラムの参加者の参加動機ですが、「森にふれる」…28.4%と最も多く、次いで「緑化活動に協力する」…19.9%、「人との出会い」…18.4%となります。特に、他の地域に比べて「森にふれる」の割合が高いのが特徴です。（表-2）

表-2 平成13年参加動機



### (2) 参加者状況

男女比は、男性7割、女性3割です。年齢は、各年代バランスよく参加されていて、この活動を通して世代を超えた人間関係が築かれています。（表-3）

参加者の割合は、リピーター6割、初参加者4割です。プログラムを知ったきっかけですが、「友人・知人の紹介」が38%と多く、口コミで北八ヶ岳のよさが伝わっているといえます。（表-4）

居住地では、東京、神奈川、千葉、埼玉、など首都圏からの参加者が圧倒的に多いことがわかります。また、愛知県からの参加者も多いです。今後の参加希望については、ほとんどの人が、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」と回答しています。（表-5）

今後、やってみたい活動としては、「植えつけ」が31.1%と最も多く、生育に欠かせない「下草刈り」が最も少なくなっています。（表-6）

表-3 参加者状況(1)

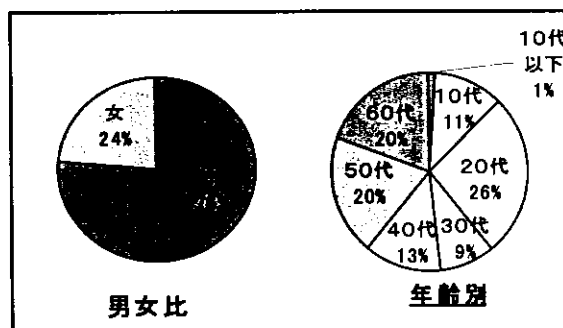
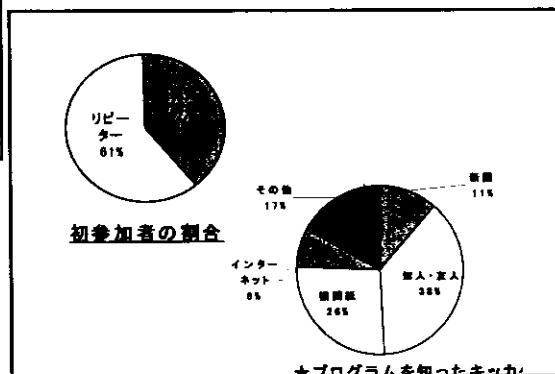
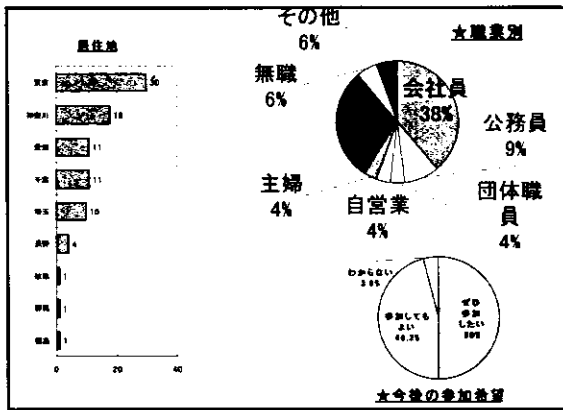


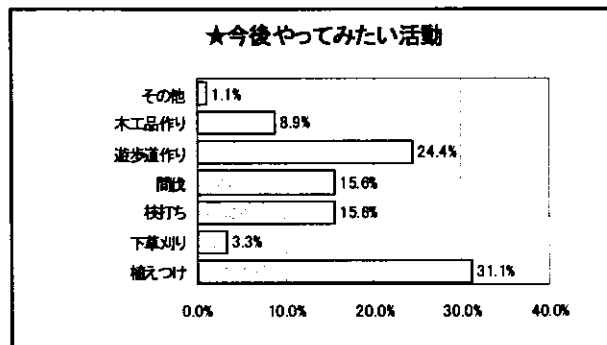
表-4 参加者状況(2)



表一 5 参加者状況 (3)



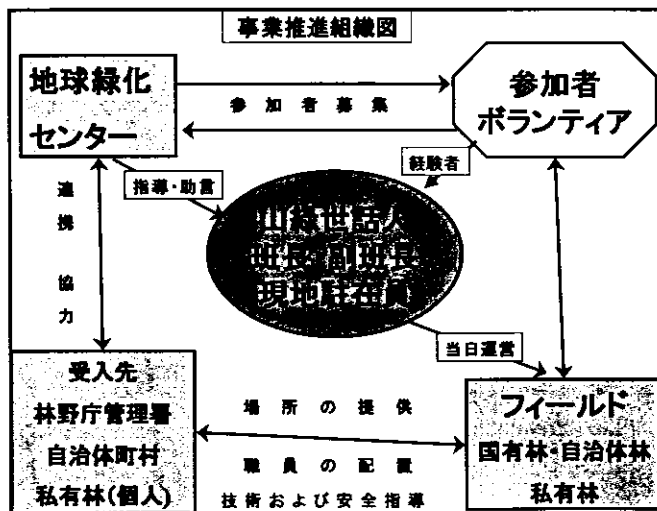
表一 6 今後やってみたい活動



3. 事業推進組織図

森林ボランティアの推進についてその仕組みを簡単に説明します。(図一3)

- (1) まず、地球緑化センターは受け入れ先と連携関係を結びます。
- (2) 参加者はその都度一般公募でボランティアを募集します。
- (3) 当日は、森林管理署の指導に基づき、ボランティア経験者が活動の運営進行に当たります。
- (4) このような仕組みによって、ボランティアは安心して参加でき、継続した活動の中で、よき応援者の輪が広がります。



図一 3 事業推進組織図

4. 森林管理署の役割

森林管理署の役割としては、次のことがあげられます。

- ・フィールドの提供
- ・道具の提供
- ・作業指導
- ・安全指導

## 5. 当日の流れ

プログラムの特徴について説明します。

- (1) 日程は1泊2日とし、作業中心のプログラムを組みます。
- (2) 森林教室を開催し、森林整備の実践と同時に森林に対する学習を進めます。
- (3) 参加者同士の交流を行い、さらに活動意欲を高めます。
- (4) 運営は参加者が進めます。

表一 7 当日の流れ

1日目			2日目		
時間	項目	内容	時間	項目	内容
10:45	集合	受付・バス出発	6:30	起床	身支度・部屋の清掃
12:00	宿舎到着	各自食事・身支度	7:00	朝食	
12:10	班長会議	管理署・全体リーダー・班長・事務局	7:40	移動	お弁当を持って現場へ移動
12:30	副班長会議	サブリーダー・副班長・事務局	8:00	作業開始	作業開始前に班毎にミーティング
12:40	開会式		11:30	昼食	現場で食事・アンケート配布
12:50	自然散策	作業現場まで	12:40	閉会式	記念撮影・道具返却
13:30	オリエンテーション	作業内容・手順・安全指導	13:10	宿舎到着	身支度・スタンプ捺印
13:45	作業開始	班毎にミーティング・自己紹介			アンケート、名札回収
		修業除伐		解散	
16:30	作業終了				
17:00	休養・入浴				
17:10	班長会議	全体リーダー・サブリーダー・班長・事務局			
18:00	夕食				
19:00	森林教室	・自己紹介 ・「人類と森林」講師：岡東一也氏			
21:00	自由時間				
22:00	就寝				

## 6. 活動の様子

### (1) 登山道整備

東信森林管理署管内、北八ヶ岳自然休養林内の登山道整備のときの活動の様子です。



写真一 1 間伐材で作った丸太の杭を打っているところです。



写真一 2 参加者が協力しあい、作り上げていきます。



写真一 3 安全で歩きやすい登山道が完成しました。

## (2) 修景除伐

これは、東信森林管理署管内の北八ヶ岳国有林86林班内で行った修景除伐の活動風景です。国道299号線の沿線に天然成林したダケカンバ等が非常に込み合っ素麺立ちになっていることから、次の3点に主眼を置いて作業を実施しています。

- ①抜き切りしてやることにより残されたダケカンバの育成を促すことができる。
- ②白駒池等へ行くハイカーの人などにダケカンバの奥に成林するヒメコマツ、アオモリトドマツ等の天然林が見えるようにする。
- ③299号線に覆いかぶさる立木や枝類等の危険が予見される立木をあらかじめ除去する。

活動においては、除伐木の現地表示は一切されていないため、見本林等を参考にし、ボランティア自身がどのような森林に導くかを考えながら、除伐木を決めて作業を行います。市民自身による森林づくりです。



写真-4 作業前の現場ですが、うっそうとしていて暗い森です。



写真-5 班ごとにミーティングします。



写真-6 作業の様子 (1)



写真一 7 作業の様子(2)



写真一 8 作業終了後、日差しの差し込む美しい森林に変わりました。

おわりに

この活動を実施するにあたって、やはり大事に思うことは、受け入れ先と地球緑化センターがしっかりと信頼関係を築くことが、森林ボランティアの裾野を広げる上で効果的な方法だと思っています。今後、森林ボランティアを希望する人たちが気軽に、しかも安心して参加できるためには、それをお世話する専門団体の充実が急がれます。その意味でも、東信森林管理署と地球緑化センターの連携は、良き事例として役立つものと思います。